

2025年度 JPI 東北支部包装研究講演会

日 時：2026年3月5日(木) 15:00～16:00

会 場：江陽グランドホテル(仙台市) 4F 琥珀の間

主催：公益社団法人日本包装技術協会 東北支部・日本包装管理士会 東北支部

公益社団法人日本包装技術協会 東北支部並びに日本包装管理士会 東北支部では、包装技術の啓発を目的とし、包装の技術、材料、最新の話題等々からテーマを選定した講演会を開催しております。

この度、下記要領にて包装研究講演会を開催させていただくことになりました。

是非この機会に皆様お誘い合せの上、参加下さいますようご案内申し上げます。

■講演内容

<テーマ>

『サーキュラーエコノミーの実現に向けたプラスチック関連の取組について』

<講 師>

経済産業省 東北経済産業局 地域経済部 製造産業課 課長補佐 六沢 翼 氏

<概 要>

我が国では、2023年3月に策定した「成長志向型の資源自律経済戦略」に基づき、サーキュラーエコノミーの実現を目指し、①産官学の連携、②投資支援、③ルール整備の取組を進めている。

①産官学の連携については、サーキュラーエコノミーに野心的・先駆的に取り組む、国、自治体、大学、企業・業界団体、関係機関・関係団体等の関係主体における有機的な連携を促進するため、「サーキュラーパートナーズ」を設立した。

②投資支援については、今後10年間で官民合わせて2兆円超の投資の実現を目指し、自動車・バッテリー、電気電子製品、プラスチック等の長寿命化や再資源の容易性の確保に資する技術開発及び設備投資への支援を行うこととしている。

③ルール整備については、資源有効利用促進法を改正し、製造事業者等に対して再生材の利用義務を課す他、環境配慮設計の促進、原材料の再資源化の促進等に取り組むこととしている。

また、プラスチックに関しては、「プラスチック資源循環法」及び「バイオプラスチック導入ロードマップ」に基づき、バイオプラスチックの導入拡大、プラスチック代替素材への転換等を推進している中、我が国においてもグローバル企業・大手企業を中心取組が加速化している。

東北地域は、プラスチック代替素材に関する先進技術を有する企業の開発拠点や工場等の立地が進む他、大学等研究機関における技術シーズも有しております、経済産業省 東北経済産業局では、東北及び全国における先進的な取組事例及び今後の市場拡大に向けた課題等について調査を行った。

本講演では、サーキュラーエコノミーの実現に向けた国の施策やプラスチックリサイクル、代替プラスチックの開発・利活用等に関する企業の取組事例を紹介する。

■開催概要

日 時：2026年3月5日(木) 15:00～16:00

会 場：「江陽グランドホテル」4F 琥珀の間

仙台市青葉区本町2-3-1 電話 022-267-5111

参加費：無料

定 員：50名



■参加申し込み方法

お申し込みは、JPI 東北支部ホームページもしくは下記 URL、QR コードより手続きをお願いします。

参加申込者には追って参加証をお送りします。

<https://x.gd/nHbWh>



◇問い合わせ先◇

公益社団法人日本包装技術協会(JPI) 竹内・森永

〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F

TEL.03-3543-1189 e-mail : takeuchi@jpi.or.jp

JPI 東北支部 HP : <https://www.jpi.or.jp/shibu/touhoku/index.html>